corega®

FEther PCI-BLK

取扱説明書

http://www.corega.co.jp/

PN J613-M3527-00 Rev.A 010612

安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

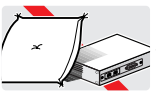
感電の原因となります。

異物、水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水がかかったり、異物が触れないように注意してください。万一水がかかったり、異物が触れた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

取り付け・取り外しのときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントに差したままでは、コンピュータに電気が流れています。感電の恐れがありますので、取り付け、取り外し作業を行う前には、必ず電源プラグを抜いてください。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 95%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、
コネクターの接点部分などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

シンナー
類不可

はじめに

この度は、「corega FEther PCI-BLK」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は本製品を正しくご使用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたします。

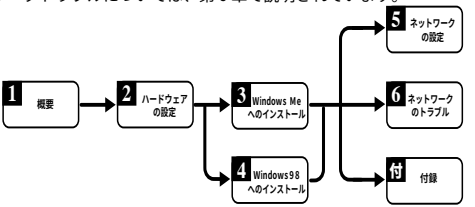
内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- corega FEther PCI-BLK 本体
- ドライバーディスク（1 枚）
- 取扱説明書 - 保証書付き（本書）
- シリアル番号シール

この取扱説明書について

この取扱説明書は、下図のような構成となっています。ご使用のオペレーティングシステム（OS）に応じて、図のように読み進んでください。OS（ドライバー）に依存したトラブルシューティング（エラーメッセージ）は各章ごとに説明されています。OS に 依存しないネットワークトラブルについては、第 6 章で説明されています。



取扱説明書の構成

ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライブ名として下記を仮定して説明しています。ご使用のコンピュータでドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものと読み替えてください。

- 「フロッピーディスクドライブ」として「A:」
- 「起動ドライブ（ハードディスク）」として「C:」
- 「CD-ROM ドライブ」として「D:」

目次

はじめに 4

1 概要 7
1.1 特長 7
1.2 使用環境 8
1.2.1 対応コンピュータ機種 8
1.2.2 対応オペレーティングシステム 8
1.3 各部の名称と働き 8
1.3.1 各部の説明 8
1.3.2 動作表示 LED 10
1.4 ドライバーディスク 10

2 ハードウェアの設定 11
2.1 コンピュータへの取り付け・取り外し 11
2.1.1 コンピュータへの取り付け 11
2.1.2 コンピュータからの取り外し 12
2.2 イーサネットへの接続 12
2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続 12
2.2.2 リンクの確認 13

3 Windows Me へのインストール 14
3.1 アップデートインストール 14
3.2 ドライバーの新規インストール 14
3.2.1 用意するもの 14
3.2.2 新規インストール 15
3.3 インストールの確認とアダプターの設定 17
3.3.1 デバイスマネージャによるインストールの確認 17
3.3.2 ネットワークの設定 19
3.3.3 ドライバーの設定 19
3.4 ドライバーの更新 22
3.5 ドライバーの削除 23
3.6 ドライバーの再インストール 25

4 Windows98 へのインストール 26
4.1 ドライバーのインストール 26
4.1.1 用意するもの 26
4.1.2 新規インストール 26
4.2 インストールの確認とアダプターの設定 30
4.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認 30
4.2.2 ネットワークの設定 32
4.2.3 ドライバーの設定 33

4.3 ドライバーの更新 35
4.4 ドライバーの削除 40
4.5 ドライバーの再インストール 42
4.6 ドライバーのトラブル 42
4.6.1 デバイスマネージャで正常に認識されない 42
4.6.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く 43
4.6.3 違うドライバーがインストールされた 43
4.6.4 リソース値重複の回避 43
4.6.5 ご使用コンピュータの確認 44

5 ネットワークの設定例 45
5.1 ファイル（ディスク）の共有をするための設定方法 45
5.1.1 「Microsoft ネットワーククライアント」、「NetBEUI」の確認 45
5.1.2 「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加 47
5.1.3 識別情報の確認 47
5.1.4 コンピュータのディスク共有設定 50
5.1.5 他のコンピュータへの接続 51
5.2 「Microsoft ネットワーククライアント」および「NetBEUI」の追加方法 52
5.2.1 「Microsoft ネットワーククライアント」の追加方法 52
5.2.2 「NetBEUI」の追加方法 54

6 ネットワークのトラブル 56
6.1 動作表示 LED は点灯していますか？ 56
6.2 動作表示 LED は点灯しているが... 56
6.3 Auto-Negotiation 機能 57
6.4 ハードウェアの故障 57

付録 58
A 製品仕様 58
B ネットワークインターフェース 59
C MAC アドレス 59
D Wake on LAN 60
E 保証と修理について 63
F ユーザーサポート 64
G おことわり 67

調査依頼書 68

1 概要

本製品の特長、使用環境、各部の名称について説明します。

1.1 特長

本製品は PCI 規格に適合したバスを持つコンピュータを Fast Ethernet LANシステムに接続するための LAN アダプターです。

本製品は IEEE802.3 10BASE-T 規格とともに、IEEE802.3u Fast Ethernet 規格に準じた 100BASE-TX 規格に適合しており、ご使用のネットワーク環境に応じて 100M/10M Ethernet を自動的に切り替えて動作します。

- 32bitバス・マスター転送方式を採用
- 100M/10Mbps通信を同一のポート（RJ-45 コネクター）でサポート（自動切替）
- 100M/10Mbps通信で Full duplex（全二重）通信が可能（自動切替 / 手動切替可能）
- PCI BIOSによるオートコンフィグレーション（I/O アドレス、インタラプトレベルの自動設定）※ 1
- 動作状態を表示する LED を装備
- Auto-negotiation機能搭載
- ACPIに対応※ 2
- Wake on LAN® 機能に対応※ 3 ※ 4

レジューム機能について

注意

本製品を使用中は、レジューム機能は使用しないでください。本製品を使用中にコンピュータがサスペンド状態になった場合、通信の切断や、その他予期しないエラーが発生することがあります。

※ 1. 本製品のドライバーをインストールすると、PCI ローカルバス仕様により、ハードウェアリソースが自動設定され、管理されます。但し、本製品を plug & play に対応していない他の拡張アダプターと併用する場合は、拡張アダプターのための設定をコンピュータに施す必要があります。拡張アダプターや PCI バスの設定方法（セットアップユーティリティなど）に関しては、ご使用コンピュータのマニュアルをご覧になるか、コンピュータメーカーにお問い合せください。

※ 2. ACPI機能に対応しているコンピュータ、オペレーティングシステム（OS）、ドライバーのもとでご使用になれます。

※ 3. Wake on LAN 機能に対応したコンピュータ、オペレーティングシステム（OS）、BIOSのもとでご使用になれます。Wake on LAN について詳しくは、「D Wake on LAN」(p.60) を参照してください。また、リモート電源管理ユーティリティは、TCP/IP プロトコルにより、Magic Packet™ を送信しますので、Wake on LAN 機能は、TCP/IP による LAN 環境でご使用ください。

※ 4. 弊社では、Wake on LAN 機能の動作を Windows98/98 SE 環境にて確認しております。また、Wake on LAN 機能およびリモートパワーマネージメント管理ソフトウェアについては、サポート対象外となります。

インストールを行う前に

ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にバックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。特に重要なデータについては、必ずバックアップをとられることをお勧めします。また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1.2 使用環境

1.2.1 対応コンピュータ機種

本製品は、PCIバスコネクターを持つ以下のコンピュータ機種に対応しています。

- AT 互換機および NEC PC98-NX

1.2.2 対応オペレーティングシステム

本製品は、次のオペレーティングシステム（OS）に対応しています（日本語版のみ）。

- Windows Me
- Windows98（Windows98 Second Edition を含む）

1.3 各部の名称と働き

1.3.1 各部の説明

次ページの図 1.3.1-1 を元に各部の説明をいたします。

①シリアル番号シール

製品のシリアル番号（製造番号）とリビジョンコードが記載されています。これらはユーザーサポートへの問い合わせの際に必要となります。

②動作表示 LED（ランプ）

動作状態を１個の LED（ランプ）で表示します。詳細は「1.3.2 動作表示 LED」をご覧ください。

③MAC アドレスラベル

各製品に固有の MAC アドレスが記載されています。MAC アドレスについては「C MAC アドレス」（p.59）をご覧ください。

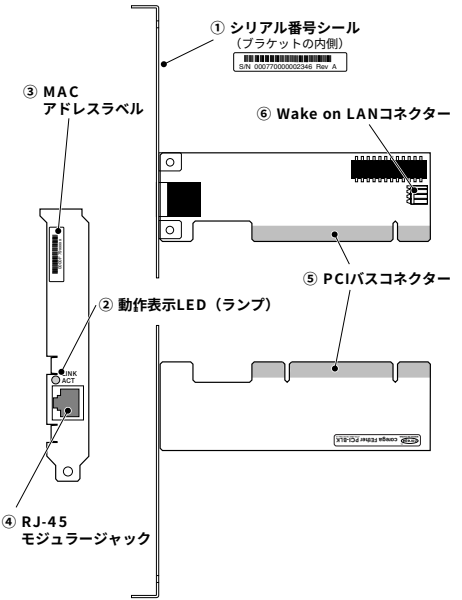


図 1.3.1-1　外観図

④ RJ-45 モジュラージャック

ネットワークケーブルを接続するコネクターです。使用するネットワークケーブルについては「2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続」をご覧ください。

⑤ PCI バスコネクター

本製品とコンピュータのインタフェースとなるコネクターです。この部分は素手で触らないようにしてください。

⑥ WOL コネクター

Wake on LAN® 機能を使用するときに、WOL ケーブル（AT 互換機用）でコンピュータと接続します。Wake on LAN 機能を使用しないときは、接続する必要はありません。
（注）本製品には WOL ケーブルは付属しておりません。

1.3.2 動作表示 LED

本製品には動作状態を表示する LED（ランプ）が 1 個装備されています。LED の色と働きは以下の通りです。

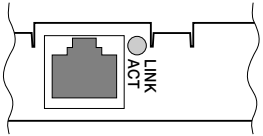


図 1.3.2-1 動作表示 LED

① 橙色

本製品とハブ（またはスイッチ）の間が 10Mbps でリンクが成立すると点灯し、パケットを送受信すると点滅します。

② 緑色

本製品とハブ（またはスイッチ）の間が 100Mbps でリンクが成立すると点灯し、パケットを送受信すると点滅します。

1.4 ドライバーディスク

本製品には、下記のドライバーディスクが付属しています。

- AT 互換機 /NEC PC98-NX 用

2 ハードウェアの設定

本製品をコンピュータに取り付け、イーサネットに接続するまでの手順を説明します。この手順を実行することにより、ネットワーク環境を提供するドライバーソフトウェアをインストールする準備が整います。

2.1 コンピュータへの取り付け・取り外し

以下に示す手順に従い、本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けてください。

コンピュータ本体のカバーの取り外し・アダプターの取り付けの詳細は、ご使用になるコンピュータのマニュアルをご覧ください。

2.1.1 コンピュータへの取り付け

(1) コンピュータ上で動作しているソフトウェアを全て終了し、本体の電源をオフにしてください。

(2) 必ず**コンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いて**ください。

> 警告 コンピュータの拡張スロットに本製品を実装する作業は、必ずコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。電源をオンにしたままこの作業を行うとコンピュータや本製品の故障の原因となることがあります。

(3) コンピュータの本体カバーを外してください。

(4) スロットカバーを固定しているねじを外し、スロットカバーを外してください。

(5) PCIバス用の空きスロットを確認します。PCIバススロットの位置は、お使いのコンピュータのマニュアルを参照してください。

(6) WOLケーブルを使用してWake on LAN®機能を使用するときは、Wake on LANコネクタにWOLケーブルを接続します。Wake on LANの接続方法については、「D Wake on LAN」（p.60）を参照してください。

> 警告 WOLケーブルを接続する際、必ずコンピュータの電源をオフにし、電源プラグが電源コンセントから抜いてあることを確認してください。また、マザーボード上の3ピンコネクターが、WOL用であるかを必ずご確認の上、WOLケーブルを接続してください。詳しくは、ご使用コンピュータのマニュアルをご覧になるか、コンピュータメーカーにお問い合せください。

(7) 本製品を拡張スロット（PCIバス用）にしっかり奥まで挿し込んでください。

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCIバスコネクターの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

(8) (4)で外したねじを使用して、本製品を固定してください。このねじは必ず取り付けてください。

(9) コンピュータの本体カバーを取り付けてください。
ネットワーク接続に必要なハードウェア設定（DMA、IRQ、I/Oアドレスなど）は、本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けただけで自動的に行われます。

2.1.2 コンピュータからの取り外し

(1) コンピュータへの取り付け手順の（1）～（3）と同様に、コンピュータの本体カバーを外します。

(2) 本製品を固定しているねじを外します。

(3) 本製品をゆっくり引き抜きます。引き抜く時は左右に振らずに真っすぐ引き抜いてください。

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCIバスコネクターの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

(4) スロットカバーを元どおりに取り付けてください。

(5) コンピュータの本体カバーを取り付けてください。

2.2 イーサネットへの接続

次に、本製品をイーサネットに接続します。この作業はネットワーク環境を提供するソフトウェアパッケージをインストールする前に行います。

2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

(1) ご使用の環境に合ったネットワークケーブル（ツイストペアケーブル）を用意します。詳細は以下をご覧ください。

100BASE-TX用
必ずカテゴリー 5 のケーブルをご使用ください。カテゴリー 5 以外のケーブルを使用した場合、「リンクできない」、「通信でエラーが発生する」、「通信できない」などの障害が発生します。ツイストペアケーブルのカテゴリーは、外見では識別できないので、何種類ものカテゴリーのケーブルを混在して使用している場合は特にご注意ください。

10BASE-T用
カテゴリー 5、4、3 のケーブルを使用することができます。

(2) ネットワークケーブルの一方の端に付いたモジュラープラグを本製品の RJ-45 モジュラージャックに、カチッと音がするまで挿し込んでください（両端のプラグのどちらでも構いません）。

(3) ネットワークケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

(4) ネットワークケーブルのもう一端のモジュラープラグをハブのコネクター（UTP）に挿し込んでください。手順は、上記 （2）と同様です。

ネットワークケーブルの外し方

UTP ケーブルの RJ-45 プラグは、プラグの爪を指で押さえながら手前に引くと、抜くことができます。

2.2.2 リンクの確認

最後に、ハブ（またはスイッチ）とコンピュータの両方の電源をオンにし、本製品の動作表示 LED とハブの LINK OK LED の両方が点灯することを確認します。点灯が確認できれば、ネットワークへの接続は正常に完了しています。

"LINK OK" LED の名称はハブの機種により異なります。また、"LINK OK" LED を持たない機種もありますので詳細はハブのマニュアルでご確認ください。

どちらか一方しか点灯していない、または両方が消灯している場合は本製品とハブは正しくリンクしていません。その場合はご使用のネットワークケーブルがしっかり接続されていない、または断線している、あるいは適切なものを使用していないなどの原因が考えられます。ケーブル類の接続をし直す、ケーブル類を交換してみる、ハブのポートを入れ替えてみるなどの対策を行ってみてください。

3 Windows Me へのインストール

本製品のドライバーを Windows Me 上にインストールする手順を説明します。

注意

ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。

3.1 アップデートインストール

コンピュータを Windows 98 から Windows Me へアップデートする場合、次の手順でドライバーを更新してください。

(1) Windows Me にアップデートする前に、Windows 98 上で本製品が正常に動作していることを確認してください。

(2) Windows Me にアップデートします（アップデート後、本製品は Windows 98 用ドライバーで動作しています）。

(3) 「3.4 ドライバーの更新」に従い、Windows Me 用のドライバーに更新してください。

3.2 ドライバーの新規インストール

3.2.1 用意するもの

- FEther PCI-BLK 本体・UTP ケーブルなど
- コンピュータ（Windows Me インストール済み）
- FEther PCI-BLK ドライバーディスク（本製品に付属）
- Windows Me の CD-ROM

  プリインストール版 Windows Me をご使用の場合は必要なファイルが予めハードディスクにコピーされていますので CD-ROM は必要ありません。ただし、一度 OS を削除し、再インストールしている場合は必要です。

注意

Windows Me がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows Me のバックアップ CD-ROM（またはリカバリー CD-ROM）が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスク

に Windows Meのバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

3.2.2 新規インストール

プリインストール版や、Windows 98 の環境を残さず Windows Me を新規にインストールし、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合、次の手順でドライバーをインストールしてください。

(1) コンピュータの電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜いた状態で、本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けてください。

(2) コンピュータの電源をオンにしてください。Windows Me によって本製品が自動的に検出され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。
「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け)(S)」を選択し、「次へ >」をクリックしてください。

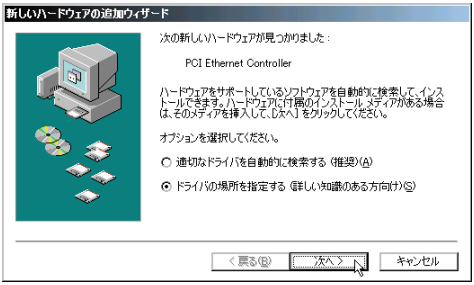


図 3.2.2-1 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の起動

(3) 「**使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）**」の「検索場所の指定」をチェックし、パスとして「**A:\WME**」を入力してください。
「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）」のチェックは外してください。
本製品のドライバー ディスクをフロッピーディスクドライブに 挿入し、「次へ >」をクリックしてください。

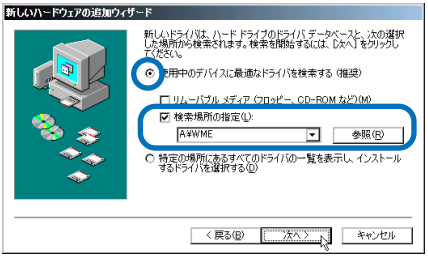


図 3.2.2-2　検索方法の選択

(4) 「更新したソフトウェア（推奨）」が選択され、corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter と表示されていることを確認し、「次へ >」をクリックしてください。

(5) 「デバイス用のドライバファイルの検索:corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」、「ドライバのある場所：A:\WME\NETCOKK.INF」となっていることを確認し、「次へ >」をクリックしてください。

(6) ドライバーがコピーされます。「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」が表示されますので、「完了」をクリックしてください。

(7) 「システム設定の変更」ダイアログが表示されます。フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを抜き、「今すぐ再起動しますか？」という問いに対して、「はい (Y)」をクリックしてください。

3.3 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

3.3.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

(1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。

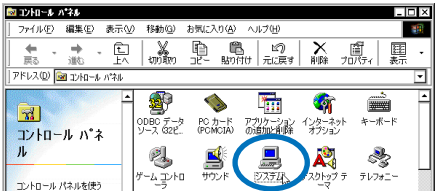


図 3.3.1-1 コントロールパネル

(2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば「ネットワークアダプタ」の下に、「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」が表示されます。

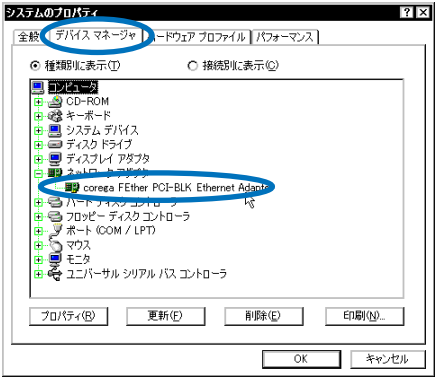


図 3.3.1-2 デバイスマネージャ

注意

本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「4.6 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

(3) 「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」を選択(反転表示)し、「プロパティ」→「全般」タブと進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

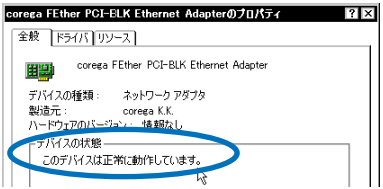


図 3.3.1-3 デバイスの状態

(4) 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows Me によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

図 3.3.1-4 リソースの確認

3.3.2 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。インターネットへのアクセスを行うためには（WWW ブラウザーなどをご使用になるためには）、TCP/IP プロトコルが必須です。ネットワーク接続の設定に関しては、「5 ネットワークの設定例」（p.45）」やネットワーク設定に関する参考書を参照してください。設定に関する詳細は、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。
必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」をクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。

図 3.3.2-1　ネットワークの設定

3.3.3 ドライバーの設定

ここでは、本製品のネットワーク通信モードに関する設定を行います。

(1) 図 3.3.2-1 で「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」→「プロパティ」→「詳細設定」タブと進み、ネットワーク通信モードの設定を行います。「値（V）」リストからご使用の環境に合ったものを選択し、「OK」をクリックしてください。詳細はシステム管理者にご確認ください。

図 3.3.3-1 ネットワークメディアの設定

各項目の意味は以下の通りです。

APM Mode Wakeup

デフォルトは「Disable」です。この値は、デフォルト値のままお使い頂くことを推奨いたします。

Magic Packet Wakeup

デフォルトは「Enable」です。

- Enable（デフォルト）

  Magic Packet™ を受け取ると、コンピュータの電源をオンにします。

- Disable

  上記機能を無効にします。

Connection Type

- Auto-Negotiation（デフォルト）
  Auto-negotiation を有効（Enable）に設定します。この項目を選択した場合、接続先機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

  接続先機器が Auto-negotiation をサポートしている場合

  可能な最高の速度（100/10 Mbps）およびモード（Full/Half duplex）となります。

  接続先機器が Auto-negotiation をサポートしていない場合

  接続先機器（ハブなど）が Auto-negotiation機能をサポートしていない場合にこの「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度（100/10 Mbps）のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。したがって、接続先機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Auto-

negotiation 機能をサポートしていない場合に最高速度（100Mbps Full duplex）を得るためには、「100 Base Tx Full_Duplex」を選択する必要がありますのでご注意ください。
接続先機器が Half duplex（半二重）のみに対応している場合、本製品を Full duplex（全二重）に設定すると、ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この場合は、接続先機器と同様に Half duplex に固定するか、Auto Negotiation を選択してください。

- 100 Base Tx Full_Duplex
  100Mbpsの Full duplex（全二重）モードに設定します。
- 100 Base Tx
  100Mbpsの Half duplex（半二重）モードに設定します。
- 10 Base T Full_Duplex
  10Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。
- 10 Base T
  10Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

Wake Up Frame※1

- Enable
  コンピュータがスタンバイモードの時、Ping などのパケットが届いたらコンピュータのスタンバイモードが解除されます。
- Disable
  上記機能を無効にします。

(2) 「ネットワーク」ダイアログに戻り、「OK」をクリックします。

(3) 「システム設定の変更」ダイアログで「今すぐ再起動しますか？」という問いに対して、「はい」をクリックしてください。ドライバーの詳細設定は再起動することで値が有効となります。

※1. Windows Me の場合、この機能は電源の管理で「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」がチェックされていないと機能しません。

3.4 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、弊社のホームページ（http://www. corega.co.jp/）などから、最新のドライバーを入手した場合に実行します。

(1) 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」とたどり、「システム」アイコンをダブルクリックしてください。

(2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ネットワークアダプタ」の下にある「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」アイコンをダブルクリックしてください。

(3) 「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」ボタンをクリックしてください。

(4) 「デバイスドライバの更新ウィザード」が現れます。「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）（S）」を選択し、「次へ >」をクリックしてください。

(5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する（D）」を選択し、「次へ>」をクリックしてください。

(6) 「デバイスの選択」ダイアログで「ディスク使用（H）」ボタンをクリックしてください。

(7) 本製品の最新ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「ディスクからのインストール」ダイアログの「製造元ファイルのコピー元 :」に「**A:\WME**」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

(8) 新たな「デバイスの選択」ダイアログが現れます。「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

(9) 次の警告が現れた場合、「はい（Y）」をクリックしてください。

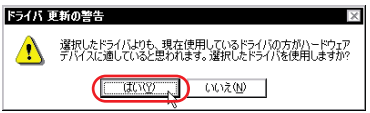


図 3.4.0-1

(10) 「デバイス用のドライバファイルの検索:corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」、「ドライバのある場所：A:\WME\NETCOKK.INF」となっていることを確認し、「次へ>」をクリックしてください。

(11) 次のダイアログが表示された場合は、「ファイルのコピー元：」に「**A:\WME**」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

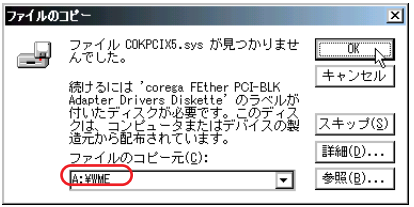


図 3.4.0-2

(12) ドライバーがコピーされます。「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました。」が表示されたら、「完了」をクリックします。

(13)「システム設定の変更」ダイアログが表示されます。フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを抜き、「今すぐ再起動しますか？」という問いに対して、「はい（Y）」をクリックしてください。

3.5 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。**ドライバーのインストールに失敗した場合も**、この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

(1)「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブと進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」を選択し、「削除（E)」をクリックしてください。

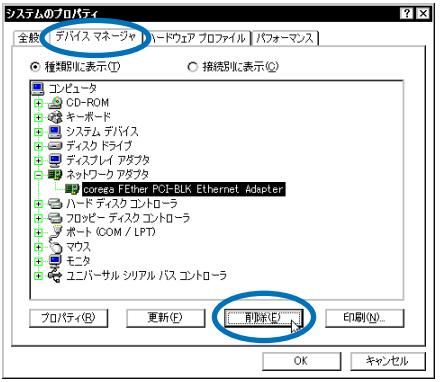


図 3.5-1 ドライバーの削除

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

図 3.5-2 デバイス削除の確認

(3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

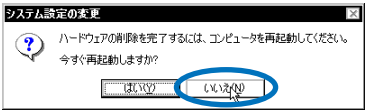


図 3.5-3 再起動の確認

(4) 「ネットワーク アダプタ」の下の本製品のアイコンが消えていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。

本製品を使用しない場合は、Windows Meを「終了」し、コンピュータの電源をオフにして※1、拡張スロットから本製品を取り外してください。次回のWindows Me起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

(5) 以上でドライバーの削除は終了です。**ドライバーの再インストールを行う場合は、本製品を取り外さずに、コンピュータを再起動してください。**

3.6 ドライバーの再インストール

ドライバーの再インストールは、本製品のドライバーのインストールに失敗したときなどに実行します。

(1) 「3.5 ドライバーの削除」の手順に従い、ドライバーを削除します。

(2) Windows Me を再起動してください。Windows Me は、corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter を検出します。

(3) 「新しいハードウエア」ダイアログ（ファイル **COKPCIX5.sys** が見つかりませんでした。）が現れた場合、ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「ファイルのコピー元 :」に「**A:\WME**」を指定してください。

(4) 「システム設定の変更」ダイアログが表示されます。フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを抜き、「今すぐ再起動しますか？」という問いに対して、「はい（Y）」をクリックしてください。

※1. この時、ご使用コンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

4 Windows98 へのインストール

本製品のドライバーを Windows98（Windows98 Second Edition を含む）上にインストールする手順を説明します。

注意

ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。

4.1 ドライバーのインストール

4.1.1 用意するもの

- FEther PCI-BLK 本体・UTP ケーブルなど
- コンピュータ（Windows98 インストール済み）
- FEther PCI-BLK ドライバーディスク（本製品に付属）
- Windows98 の CD-ROM
  プリインストール版Windows98をご使用の場合は必要なファイルが予めハードディスクにコピーされていますので CD-ROM は必要ありません。ただし、一度 OS を削除し、再インストールしている場合は必要です。

注意

Windows98がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows98のバックアップCD-ROM（またはリカバリーCD-ROM)が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクにWindows98のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

4.1.2 新規インストール

本製品のドライバーを Windows98 に新規インストールする手順を説明します。**ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します。**

(1) 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows98 を起動してください。

(2) Windows98 は本製品を自動的に検出し、次のダイアログを表示します。「次へ」をクリックしてください。

図 4.1.2-1 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の起動

(3) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

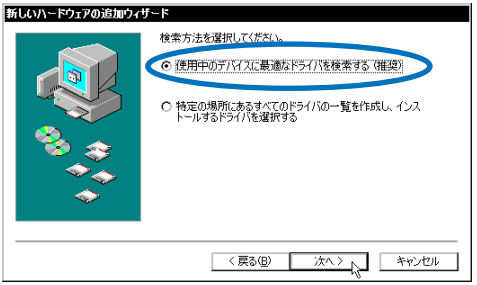


図 4.1.2-2 検索方法の選択

(4) 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「検索場所の指定」を選択して、「**A:\W98**」を入力し、「次へ」をクリックしてください。

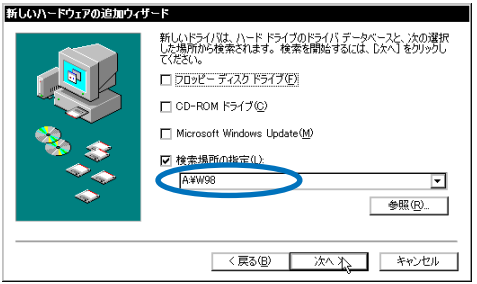


図 4.1.2-3　検索場所の指定

(5)　次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:\ W98\NETCOKK.INF」となっていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

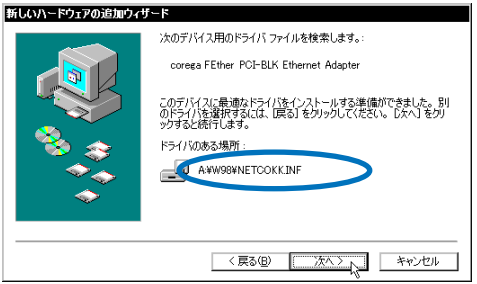


図 4.1.2-4　ドライバーファイルの検索

(6)　ここで、本製品のドライバーディスクが要求された場合、「OK」ボタンをクリックし、本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「A:\W98」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

注意

重要：場合によっては、「COKPCIX5.sysが見つからないので Windows98 の CD-ROM を入れください」というようなダイアログが表示されることがあります。「COKPCIX5.sys」はドライバーディスクに収められているファイルです。このような場合は、「ファイルのコピー元」に「A:\W98」を入力してください。

(7) 必要な Windows98 ファイルのコピーが始まります。次のようなダイアログが表示される場合、Windows98の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、「OK」をクリックし、「ファイルのコピー元」に「**D:\win98**」を入力してください。

図 4.1.2-5　Windows98 CD-ROM の要求

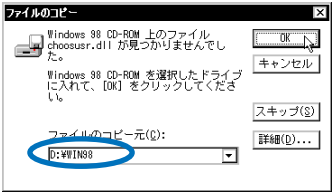


図 4.1.2-6　Windows98 関連ファイルの所在の指定

注意

ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー元」に「**C:\windows\options\cabs**」を入力してください。

(8) 「完了」ボタンをクリックしてください。

図 4.1.2-7　完了

(9) フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを抜き、「はい」をクリックし、コンピュータを再起動してください。

図 4.1.2-8　再起動

(10) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「4.2 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

注意

インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。**DHCP サーバーを使用していなければ、「いいえ」をクリックしてください。** DHCP サーバーを使用している場合（例えば、ケーブルテレビを使用したインターネット接続等）は、「はい」をクリックしてください。LAN環境で TCP/IPをご使用になる場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。

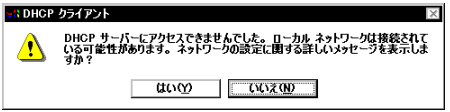


図 4.1.2-9　DHCP メッセージ

4.2 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

4.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

(1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。

図 4.2.1-1　コントロールパネル

(2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば「ネットワークアダプタ」の下に、「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」が表示されます。

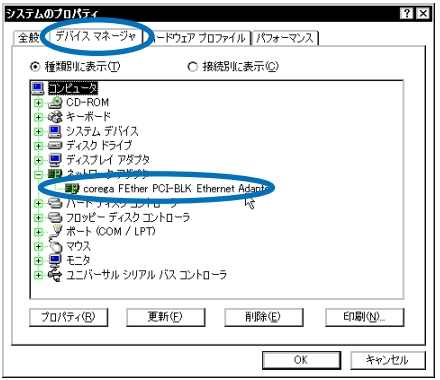


図 4.2.1-2　デバイスマネージャ

注意

本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「4.6 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

(3) 「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」を選択（反転表示）し、「プロパティ」→「全般」タブと進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

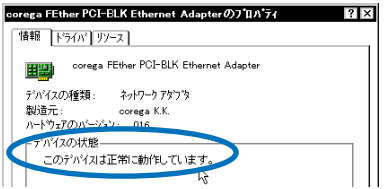


図 4.2.1-3　デバイスの状態

(4) 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows98 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

図 4.2.1-4　リソースの確認

4.2.2　ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。インターネットへのアクセスを行うためには（WWW ブラウザーなどをご使用になるためには）、TCP/IP プロトコルが必須です。ネットワーク接続の設定に関しては、「5 ネットワークの設定例」（p.45）やネットワーク設定に関する参考書を参照してください。設定に関する詳細は、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。
必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」をクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。

図 4.2.2-1　ネットワークの設定

4.2.3　ドライバーの設定

ここ では、本製品のネット ワーク通信モード に関する設定を行い ます。

(1)　図 4.2.2-1 で「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」→「プロパティ」→「詳細設定」タブと進み、ネットワーク 通信モードの設定を行います。「値（V）」リストからご使用の環境に合ったものを選択し、「OK」をクリックしてください。詳細はシステム管理者にご確認ください。

図 4.2.3-1　ネットワークメディアの設定

各項目の意味は以下の通りです。

APM Mode Wakeup
デフォルトは「Disable」です。この値は、デフォルト値のままお使い頂くことを推奨いたします。

Magic Packet Wakeup
デフォルトは「Enable」です。

- Enable（デフォルト）
  Magic Packet™ を受け取ると、コンピュータの電源をオンにします。
- Disable
  上記機能を無効にします。

Connection Type

- Auto-Negotiation（デフォルト）
  Auto-negotiation を有効（Enable）に設定します。この項目を選択した場合、接続先機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

  接続先機器が Auto-negotiation をサポートしている場合

  可能な最高の速度（100/10 Mbps）およびモード（Full/Half duplex）となります。

  接続先機器が Auto-negotiation をサポートしていない場合

  接続先機器（ハブなど）が Auto-negotiation機能をサポートしていない場合にこの「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度（100/10 Mbps）のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。したがって、接続先機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合に最高速度（100Mbps Full duplex）を得るためには、「100 Base Tx Full_Duplex」を選択する必要がありますのでご注意ください。
  接続先機器が Half duplex（半二重）のみに対応している場合、本製品を Full duplex（全二重）に設定すると、ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この場合は、接続先機器と同様に Half duplex に固定するか、Auto Negotiation を選択してください。
- 100 Base Tx Full_Duplex
  100Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。
- 100 Base Tx
  100Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

・10 Base T Full_Duplex
10Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。

・10 Base T
10Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

Wake Up Frame※1

・Enable
コンピュータがスタンバイモードの時、Ping などのパケットが届いたらコンピュータのスタンバイモードが解除されます。

・Disable
上記機能を無効にします。

(2) 「ネットワーク」ダイアログに戻り、「OK」をクリックします。

(3) 「システム設定の変更」ダイアログで「今すぐ再起動しますか？」という問いに対して、「はい」をクリックしてください。ドライバーの詳細設定は再起動することで値が有効となります。

4.3 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、本製品用の最新のドライバーを入手したときに実行します。

(1) Windows98 の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れてください。（プリインストール版 Windows98 をご使用の場合は必要なファイルが予めハードディスクにコピーされていますので CD-ROM は必要ありません。ただし、一度 OS を削除し、再インストールしている場合は必要です。）

(2) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブと進みます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、その下に表示される「corega FEher PCI-BLK Ethernet Adapter」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください（図 4.2.1-2）。

(3) 次のダイアログで「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックしてください。

※1. Windows 98 SE の場合、この機能は電源の管理で「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」がチェックされていないと機能しません。

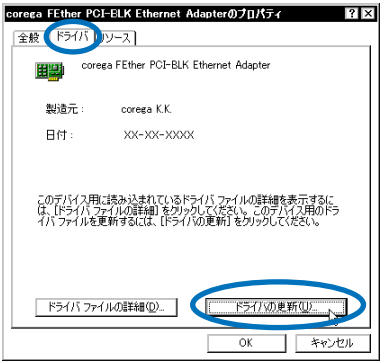


図 4.3-1「ドライバの更新」ボタン

(4) 「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動されますので、「次へ」をクリックしてください。

図 4.3-2 更新されたドライバーの検索

(5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

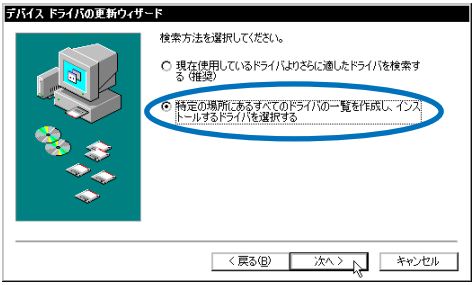


図 4.3-3 検索方法の選択

(6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」をクリックします。

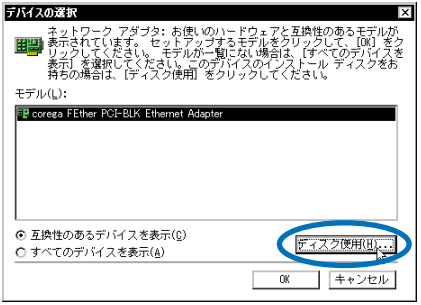


図 4.3-4 ドライバーインストールにはディスクを使用

(7) 本製品の最新の ドライバーディスクをフロッピー ディスクドライブに入れ、次のダイアログで「A:\W98」と入力して、「OK」をクリックしてください。

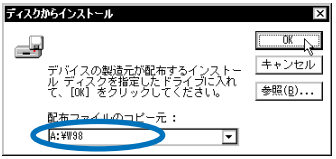


図 4.3-5 ドライバーの所在の指定

(8) Windows98 によってドライバーディスクが検索され、次のダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。ダイアログが閉じ、図 4.3-4 の画面に戻りますが、**画面が自動的に閉じて、手順 (9) の図 4.3-7 の画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。(1 ～ 2 分)**

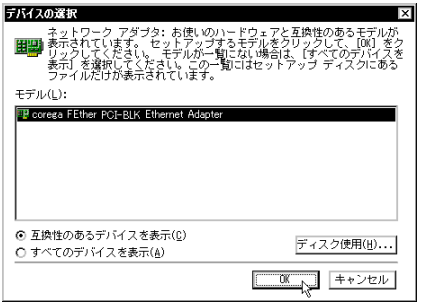


図 4.3-6 選択するドライバー

(9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:\W98\NETCOKK.INF」となっていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

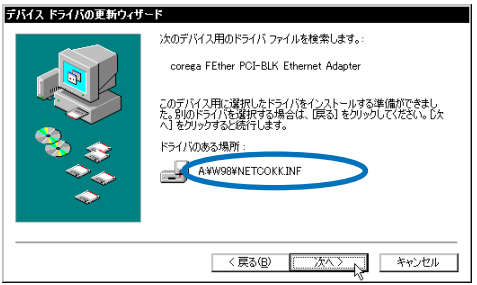


図 4.3-7 ドライバーファイルの検索

(10) ここで、本製品のドライバーディスクが要求された場合、「OK」ボタンをクリックし、本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「A:\W98」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

注意

重要:場合によっては、「COKPCIX5.sys が見つからないので Windows98 の CD-ROM を入れください」というようなダイアログが表示されることがあります。「COKPCIX5.sys」はドライバーディスクに収められているファイルです。このような場合は、「ファイルのコピー元」に「A:\W98」を入力してください。

(11) また、次のようなダイアログが表示される場合、Windows98 の CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されていることを確認し、「ファイルのコピー元」に「**D:\win98**」を入力してください。

図 4.3-8 Windows98 CD-ROM の要求

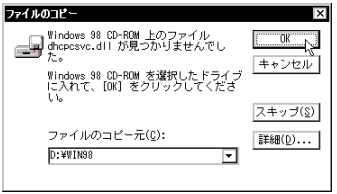


図 4.3-9 Windows98 関連ファイルの所在の指定

注意

ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー元」に「**C:\windows\options\cabs**」を入力してください。

(12)「完了」をクリックしてください。

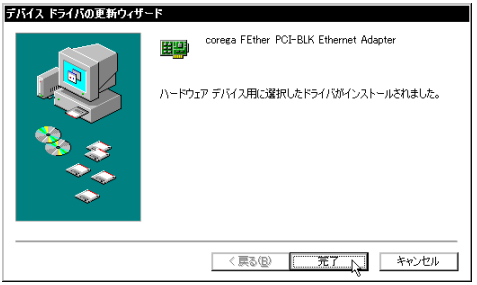


図 4.3-10 完了

(13) フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」をクリックしてください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

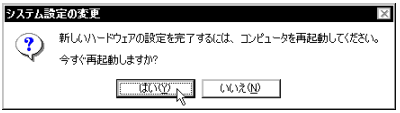


図 4.3-11 再起動

(14)「4.2 インストールの確認とアダプターの設定」を実行してください。

4.4 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。**ドライバーのインストールに失敗した場合も**、この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

(1) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブと進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」を選択し、「削除(E)」をクリックしてください。

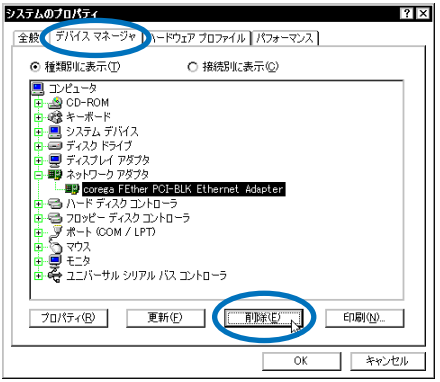


図 4.4-1 ドライバーの削除

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

図 4.4-2 デバイス削除の確認

(3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

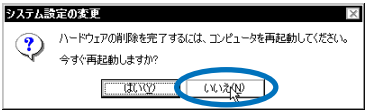


図 4.4-3 再起動の確認

(4) 「ネットワーク アダプタ」の下の本製品のアイコンが消えていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。

本製品を使用しない場合は、Windows98を「終了」し、コンピュータの電源をオフにして※1、拡張スロットから本製品を取り外してください。次回の Windows98 起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

(5) 以上でドライバーの削除は終了です。**ドライバーの再インストールを行う場合は、本製品を取り外さずに、コンピュータを再起動してください。**

4.5 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

(1) 「4.4 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。

(2) 「4.1 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4.6 ドライバーのトラブル

ここではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

4.6.1 デバイスマネージャで正常に認識されない

「4.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

■「ネットワークアダプタ」の項目がない

■「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている

この場合、以下のような操作を行ったことが考えられます。

- ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll などの Windows98 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。
- COKPCIX5.sys の要求において「キャンセル」をクリックした。

■アイコンに「!」「?」マークがある

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

※1. この時、ご使用コンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

(1) 不正にインストールされた「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」アイコンを選択し、「削除（E）」ボタンをクリックしてください。

(2) 「4.4 ドライバーの削除」の手順（2）以降を実行してください。

(3) 「4.1 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4.6.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

アイコンに「×」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

(1) 「corega FEther PCI-BLK Ethernet Adapter」を選択（反転表示）し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブを表示します（図 4.2.1-3）。

(2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

4.6.3 違うドライバーがインストールされた

ドライバーインストール時の検索場所の指定（4.1.2 の手順（4））で本製品に付属のフロッピーディスクではなく、CD-ROM を指定してしまった場合、不適切なドライバーが組み込まれてしまいます。

不適切なドライバーがインストールされたときは、次の手順で正しいドライバーをインストールし直します。

(1) 「4.4 ドライバーの削除」の手順にしたがい不適切なドライバーを削除します。この場合、削除するネットワークアダプタは誤ってインストールされたドライバーです。

(2) 「4.1 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4.6.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応し ていない他の拡張アダプターを本製品とともに使用して いる場合は、その拡張アダプターが使用する リソース値を Windows98 に 予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他 の Plug & Play 対応デバイス（本製品を 含む）によって 使用されないように しておくと、値の重複を 回避できます。

コンピュータ機種によっては、「BIOS」に組み込まれている PCIや ISA の設定ユーティリティーを使用して、リソースの重複を回避するものがあります。詳細は、ご使用コンピュータのマニュアルをご覧ください。

(1) Plug & Play　非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト（IRQ）、I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス（DMA））を調べて おきます。詳細は、その拡張アダプター のマニュアルをご覧になる か、または、メーカーにお問い合わせください。

(2) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブと進みます。

(3) 「デバイスマネージャ」タブで「コンピュータ」を選択し、「プロパティ」→「リソースの予約」タブと進みます。

(4) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

4.6.5 ご使用コンピュータの確認

ご使用 コンピュータの OS が Windows98 のプリインストールタイプで ない場合、（Windows3.1/95 からアップグ レードされた場 合など）は、ご使用の コンピュータ本 体が Windows98 の plug & play機能に 対応していない可 能性があります。「4.6 ドライバーのトラブル」や「6 ネットワークのトラブル」（p.56）の手順で操 作しても正常に動 作しない場合は、ご使用 コンピュータメーカー にお問い合せく ださい。

5 ネットワークの設定例

（ディスクの共有設定例）

ここでは、Windows98 で、ファイル（ディスク）の共有をするためのネットワークの設定例について説明します。「4.2 インストールの確認とアダプターの設定」(p.30）を参照し、LAN アダプターの設定が正常であることを確認した後で、ネットワークを利用したデータの送受信を行ってみましょう。データの送受信をするためには、各コンピュータについて設定が必要になります。

・Windows Me のディスク共有設定について

Windows Meの場合、OSに標準搭載されているホームネットワークウィザードを使用した設定をお勧めします。設定手順の詳細については、別途参考書等をご覧ください。

5.1 ファイル（ディスク）の共有をするための設定方法

ピアツーピア接続をするためには、すべてのコンピュータについて以下の設定が必要になります。

- 「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」の確認、「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加
- ユーザー情報、または識別情報（コンピュータ名、ワークグループ）の確認
- コンピュータの共有設定（ハードディスク・プリンター等の共有）

ここでは、ハードディスクの共有を説明しています。プリンターを共有する場合は、プリンターメーカによって操作が異なりますので、プリンターメーカにご相談ください。

5.1.1 「Microsoft ネットワーククライアント」、「NetBEUI」の確認

(1) 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択します。

(2) 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

(3) 「ネットワークの設定」タブの「現在のネットワークコンポーネント」に、「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されていることを確認します。

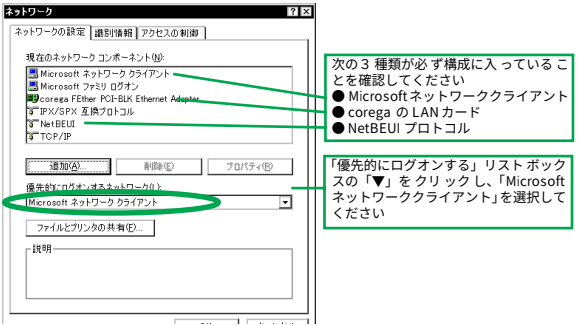


図 5.1.1-1 「ネットワークの設定」

「NetBEUI」と「Microsoft ネットワーククライアント」が「現在の ネットワークコンポーネント」に無い場合は、以下を参考に各サービスやプロトコルを追加してください。

【ネットワークコンポーネントに無い場合】

「NetBEUI」と「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されていない場合は、以下の項目を参照してネットワークコンポーネントに追加してください。

- 「Microsoft ネットワーククライアント」が無い場合 ⇒「5.2.1」へ
- 「NetBEUI」が無い場合 ⇒「5.2.2」へ

「corega の LAN カード」が無い場合

- Windows98 では「4.2 インストールの確認とアダプターの設定」（p.30）へ

5.1.2 「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加

以下の手順に従い、「Microsoft ネットワーク共有サービス」を追加します。ここでは、Windows98 の画面を例にしています。

(1) 「ファイルとプリンタの共有」をクリックします。

(2) 「ファイルを共有できるようにする」および「プリンタを共有できるようにする」をチェックし「OK」をクリックします。画面が戻り「Microsoft ネットワーク共有サービス」が追加されます。

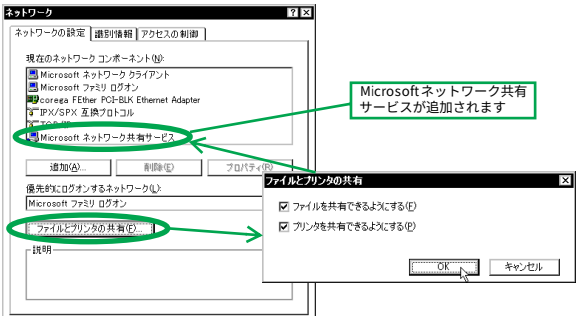


図 5.1.2-1 「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加

5.1.3 識別情報の確認

以下の手順に従い、「識別情報」を確認します。ここでは、Windows98 の場合を例にしています。

(1) 「コントロールパネル」→「ネットワーク」をダブルクリックし、「識別情報」タブをクリックしてください。

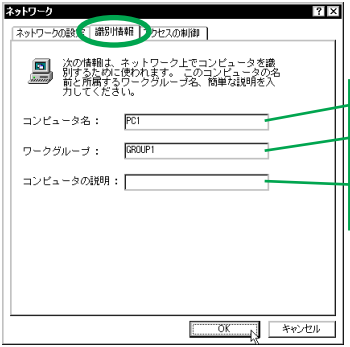


図 5.1.3-1　「識別情報の確認」

設定する項目の詳細は、次の通りです。

- **コンピュータ名**：ネットワーク上でコンピュータを識別するための名称です。
  各コンピュータごとに固有の名称を設定します。
  「コンピュータ名」は、自由に設定できますが、以下にご注意ください。
  ●15 文字以下の半角英数字で入力すること
  ●接続する全てのコンピュータ名は異なること

- **ワークグループ**：ネットワーク上のコンピュータをグループ分けするための名称です。特に分ける必要がなければ、ネットワーク内のコンピュータは、すべて同一の名称にしてください。
  ワークグループ名は、自由に設定できますが以下にご注意ください。
  ●15 文字以下の半角英数字で入力すること
  ●全てのワークグループ名は同じにすること
  ●LAN 環境へアクセスする場合は、所属するネットワークのワークグループと同じにすること
  ※ワークグループ名などの詳細は、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

- **コンピュータの説明**：「コンピュータ名」の補足説明です。特に入力しなくても構いません。

(2) 「コンピュータ名」、「ワークグループ名」、「コンピュータの説明」を設定します。
設定が終わったら、「OK」ボタンをクリックしてください。

重要：ワークグループ名は、接続する全てのコンピュータに同じ名前を設定してください。WindowsのOS自体が、コンピュータ名・ワークグループ名の漢字(日本語・カナ)に対応していません。必ず英数半角をご使用ください。

(3) Windowsの再起動が要求されますので、「OK」ボタンを押して、再起動してください。

要求されない場合でも、設定を有効にしますので手動で再起動してください。

(4) Windowsが再起動され「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されます。

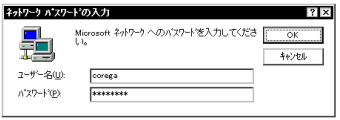


図 5.1.3-2　「ネットワークパスワードの入力」

- ネットワークを使用するときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。
  ただし、ネットワークを使用しないときは入力する必要はありません。
- ユーザー名とパスワードは、Windowsをセットアップする過程で設定しています。
  初めてログインするときは、セットアップ時のユーザー名とパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。(パスワードは空白でも可能です)

ユーザー名とパスワードは任意に設定できます。特に決まりはありません。また名称によって通信ができないという事もありません。

注意

「ネットワークパスワードの入力」ダイアログは、「ネットワークの設定」ダイアログ(「コントロールパネル」→「ネットワーク」)の、「優先的にログオンするネットワーク」の設定で、「Microsoft ネットワーククライアント」が選択されていない場合は表示されません。

「ユーザー名」と「パスワード」は毎回、必ず入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。
入力しない場合は、ネットワークでの通信ができなくなることがあります。

5.1.4 コンピュータのディスク共有設定

コンピュータのドライブやフォルダの共有を設定します。ここでは、「マイコンピュータ」の中の「C ドライブ」を共有するときの手順を例に説明します。

(1) デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

(2) 「マイコンピュータ」ダイアログの「(c:)」ドライブアイコン上で右ボタンをクリックし、メニューを表示して「共有」を選択します。

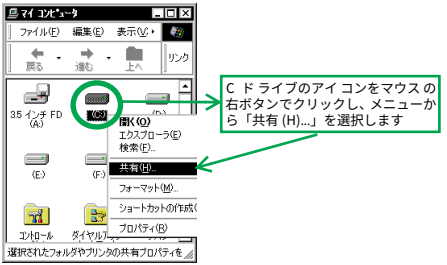


図 5.1.4-1 「C ドライブ」の共有

(3) 「共有」タブをクリックし、「共有する」をチェックします。

(4) 「共有名」、「アクセス権の種類」、「パスワード」などの項目を運用方法に合わせて設定します。

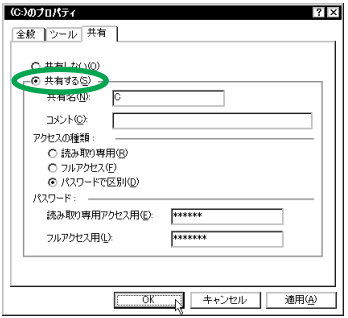


図 5.1.4-2 「共有」の設定

設定 する項目の説明は、次の通りです。

- 共有しない :ドライブの共有を解除するときに選択します。
- 共有する：ドライブの共有を設定するときに選択します。
- 共有名：共有するドライブの名称を変更することが出来ます。
- コメント：共有するドライブやフォルダに対する説明を入力します。
  （必ず入力する必要はありません）
- アクセス権の種類： 共有するドライブに対して読み書きの許可を設定します。
  ・読み取り専用： 共有するドライブを読み込み専用にします。
  ・フルアクセス： 共有するドライブに読み書きを許可します。
  ・パスワードで区別：パスワードにより、読み書きを許可します。
- パスワード:「アクセス権の種類」に対するパスワードです。
  ・読み取り専用アクセス用：読み取りを許可するときのパスワードを設定します。
  ・フルアクセス用：読み書きを許可するときのパスワードを設定します。

(5) C ドライブのアイコンが次の画面のようになります。

図 5.1.4-3 共有設定されたドライブの表示

5.1.5 他のコンピュータへの接続

以下 の手順に従い、他のコ ンピュータに接続 します。

(1) Windows デスクトップ上の「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。接続されているコンピュータが表示されます。

図 5.1.5-1　「ネットワークコンピュータ」表示

(2) 表示されているコンピュータのアイコンから接続したいコンピュータをダブルクリックします。

(3) 共有設定で、「共有する」と設定されたドライブが表示されます。

(4) 上記 (3) で表示されたドライブをダブルクリックすると、「共有する」と設定されている中身（ファイルやフォルダ）が表示され、アクセスが可能となります。

重要: タイミングによって接続したいコンピュータが表示されない事もあります。その際は、「ネットワークコンピュータ」を再表示、または「表示」メニューの「最新の情報に更新」を選択してください。

5.2「Microsoft ネットワーククライアント」および「NetBEUI」の追加方法

ここでは、「Microsoft ネットワーク クライアント」および「NetBEUI」の追加方法について説明します。以下の手順に従い、操作してください。ここでは、Windows98 の場合を例にしています。

5.2.1「Microsoft ネットワーククライアント」の追加方法

(1) 「スタート」メニューの「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」をダブルクリックし、「ネットワークの設定」タブで、「追加」をクリックしてください。

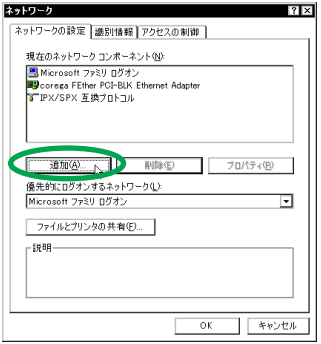


図 5.2.1-1　ネットワーク構成ファイルの追加

(2) 「インストールするネットワークコンポーネント」の一覧より、「クライアント」を選択し、「追加」をクリックします。

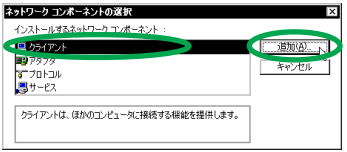


図 5.2.1-2　「ネットワーククライアント」の追加

(3) 「製造元」に「Microsoft」、「ネットワーククライアント」に「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、「OK」をクリックします。

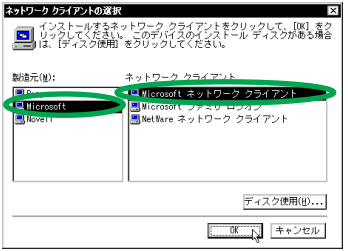


図 5.2.1-3　「Microsoft ネットワーククライアント」を追加

(4) 「OK」をクリックすると手順 (2) の画面に戻ります。「5.1.1 「Microsoft ネットワーククライアント」、「NetBEUI」の確認」(p.45) で追加されていることを確認してください。

5.2.2 「NetBEUI」の追加方法

(1) 「スタート」メニューの「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」をダブルクリックし、「ネットワークの設定」タブで、「追加」をクリックしてください。

図 5.2.2-1　ネットワーク構成ファイルの追加

(2) 「インストールするネットワークコンポーネント」の一覧より、「プロトコル」を選択し、「追加」をクリックします。

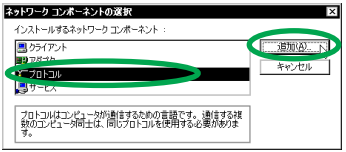


図 5.2.2-2　「ネットワークプロトコル」の追加

(3) 「製造元」に「Microsoft」、「プロトコル」に「NetBEUI」を選択し、「OK」をクリックします。

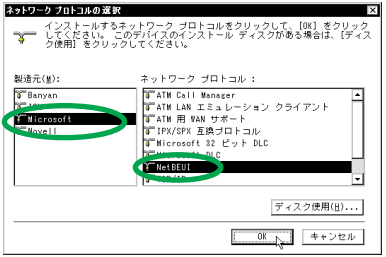


図 5.2.2-3　NetBEUI を追加

(4) 「OK」をクリックすると (2) の画面に戻ります。「5.1.1 「Microsoft ネットワーク クライアント」、「NetBEUI」の確認」（p.45）で追加されていることを確認してください。

TCP/IP や他のプロトコルの設定については、ネットワーク設定に関する参考書を参照していただくか、システム管理者にご確認ください。

6 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

6.1 動作表示 LED は点灯していますか？

動作表示 LED は、接続先機器（ハブやスイッチ）と正しく接続されている場合に点灯します。動作表示 LED は、本製品と接続先機器の両方に存在します。本製品と接続先機器の両方の動作表示 LED が点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- 接続先機器の電源がオンになっているか確認してください。
- UTP ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しいUTP ケーブルを使用しているか確認してください。本製品と接続先機器との接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
- 接続先機器のポートの設定が正しいか確認してください。機器によっては、機器同士を接続するためのポート（カスケードポート）を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続するときは、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「MDI-X」や「to pc」に設定しなければなりません（通常のハブやスイッチのポートとして設定する）。
- 接続先機器の特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTP ケーブルに問題はありませんか？ ケーブルの不良は外観から判断しにくいため（結線は良いが特性が悪い場合など）、他のケーブルに交換して試験してみてください。
- 接続先機器の通信速度を確認してください。各 OS の「ドライバーの設定」を参考にして、接続先機器に合った速度を選択してください。

6.2 動作表示 LED は点灯しているが ...

動作表示 LED は点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTP ケーブルの長さは正しいですか？ ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは、最長 100m と規定されています。
- 正しい UTP ケーブルを使用していますか？ **100BASE-TX では「カテゴリー 5」、10BASE-T では「カテゴリー3」以上**の UTP ケーブルを使用しなければなりません。

・UTP ケーブルに問題はありませんか？ ケーブルの不良は外観から判断しにくいため（結線は良いが特性が悪い場合など）、他のケーブルに交換して試験してみてください。

6.3 Auto-Negotiation 機能

インストール直後には、本製品の通信設定は「Auto Mode」に設定されており、接続先機器との通信速度（100/10Mbps）やモード（Full/Half duplex）は、本製品のAuto-Negotiation機能によって自動的に設定されます。しかしながら、Auto-Negotiationをサポートしていない機器に接続した場合、正常に機能しない場合があります。Auto-Negotiation設定で正常に接続できない場合は、次の対応表を参考にして、本製品および接続先機器の設定を変更してください。設定の変更方法については、各 OS の「ドライバーの設定」を参照してください※1。

		corega FEther PCI-BLK				
		10M Half	10M Full	100M Half	100M Full	Auto Mode
接続先	10M Half	○	—	—	—	○
	10M Full	—	○	—	—	—
	100M Half	—	—	○	—	○
	100M Full	—	—	—	○	—
	Auto Mode	○	—	○	—	○

図 6.3-1 通信モード対応表

接続先機器が Half duplex（半二重）のみに対応している場合、本製品を Full duplex（全二重）に設定すると、ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この場合は、接続先機器と同様に Half duplex に固定するか、Auto Mode を選択してください。

6.4 ハードウェアの故障

以下のような現象の場合は、ご使用コンピュータの PCI バスや本製品の故障と思われます。

■昨日まで正常に動作していたのに、急に通信ができなくなってしまった。

このような場合は、「PCI バスのハードウェア診断」を行う必要があります。現象および調査内容を本マニュアル巻末の「調査依頼書」に明記の上、corega サポートセンターまで FAX してください。（詳細は「F ユーザーサポート」（p.64）をご覧ください。）

※1. 本製品では、Auto-Negotiationの設定は、「Connedtion Type」で行います。

付録

A 製品仕様

1. ハードウェア仕様

・サポート規格：IEEE802.3　10BASE-T、IEEE802.3u　100BASE-TX、IEEE802.3u Auto-negotiation

2.機械的仕様

- PCI インターフェース：PCI ローカルバス仕様 Rev. 2.2 に準拠
- 外形：42.96 [mm] × 119.92 [mm] （ブラケット部分を除く）
- 重量：カード：約 66g

3.電気的仕様

- 動作電圧：DC +5V
- 消費電流：125mA@5V（MAX）

4.環境条件

- 動作時：　温度 0 ～ 40 ℃
  湿度 80%以下（ただし結露なきこと）
- 保存時：　温度 -20 ～ 60 ℃
  湿度 95%以下（ただし結露なきこと）

5.電気雑音の発生防止

- 取得承認：EMI 規格　VCCI クラス B

6.ネットワーク機能

- 転送速度：100Mbps または 10Mbps
- 通信モード：全二重または半二重

B ネットワークインターフェース

100BASE-TX/10BASE-T インターフェース（MDI）は、RJ-45 型と呼ばれるモジュラージャックが使用されています。

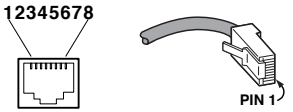


図 B-1　RJ-45 モジュラージャック、プラグ

ピン番号	信号（MDIポート）
1	送信データ（+）
2	送信データ（−）
3	受信データ（+）
4	未使用
5	未使用
6	受信データ（−）
7	未使用
8	未使用

図 B-2　信号線名

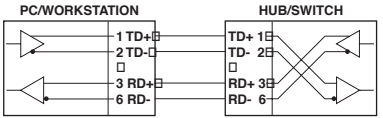


図 B-3　UTP ケーブル（ストレートタイプ）

C MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MAC アドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MAC アドレスは機器（アダプター）のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の（unique、ユニークな）アドレスです。

MAC アドレスは、下記の 6 バイト（48 ビット）によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されている MAC アドレスラベルに記入されています (表記は全て 16 進数)。

00　90　99　xx　xx　xx
ベンダー ID　通し番号

・ベンダー ID
LAN ベンダー（LAN用機器を製造しているメーカー）が IEEE に申請することにより得られる識別番号です。

・通し番号
この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたものです。この通し番号と本製品の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。

MACアドレス（マックアドレスと読みます）は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MAC アドレスは、TCP/IPの環境で使用される IPアドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。

D Wake on LAN

■Wake on LAN® とは

コンピュータの電源をネットワーク上の他のコンピュータからオンできる機能です。
この方法により、コンピュータのある場所に行かなくてもコンピュータを起動することができます。また、コンピュータは消費電力のきわめて低い動作モードに入ることができ、必要なときのみ起動できるので、省電力にもつながります。
Wake on LAN は、Remote Wake Up とも呼ばれます。

■Wake on LAN の必要条件

Wake on LAN機能を使用するには、ご使用のコンピュータのBIOSや OS（Wake on LAN 用環境設定）上の設定が必要です。詳しくは、ご使用コンピュータのマニュアルをご覧いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。Wake on LAN機能を使用する際には、リモートパワーマネージメント管理ソフトウェアが必要です。操作や設定の方法については、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。※1

■Wake on LAN コネクターへの接続

WOLケーブルを接続するときは、必ずコンピュータの電源をオフにしてください。**このとき、必ずコンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**電源をオンにしたままこの作業を行うとコンピュータや本製品の故障の原因となることがあります。

※1. 弊社では、Wake on LAN 機能の動作を Windows98/98 SE環境にて確認しております。また、Wake on LAN 機能およびリモートパワーマネージメント管理ソフトウェアについては、サポート対象外となります。

注意

ご使用コンピュータに 3 ピンコネクターが実装されていても、WOL 用であるかを必ずご使用コンピュータのマニュアルでご確認ください。3 ピンコネクターが WOL 用コネクターでない場合、WOL ケーブルを接続すると、本製品を破損するおそれがありますので、必ずご確認ください。

(1) コンピュータの電源プラグが電源コンセントから外れていることを確認します。

(2) 本製品の Wake on LAN コネクターに WOL ケーブルを接続します。

(3) 本製品を PCI スロットにしっかり奥まで挿し込みます。

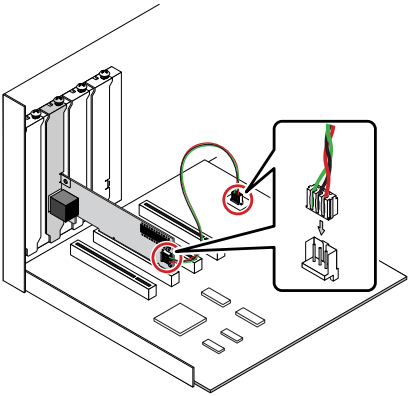


図 D-1　WOL ケーブルの接続

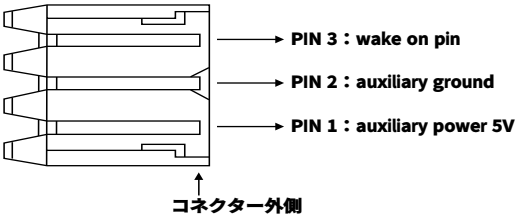


図 D-2　コネクターピンアサイン

(4) ケーブルの片端をマザーボード上の Wake on LAN 用コネクターに接続します。

マザーボード上の Wake on LAN用コネクターの位置は、コンピュータにより異なります。

コンピュータによっては、BIOS または OS の設定を変更して、Wake on LAN機能を動作可能な状態にしなければならないこともあります。詳しくは、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

WOL ケーブルには AT 互換機用と PC98 NX 用の 2 種類があります。お使いのコンピュータ機種をご確認の上、ご用意ください。

本アダプターのWake on LAN 機能は、工場出荷時はEnabled（有効）になっております。Wake on LAN 機能を無効にする必要がある場合は、「ドライバの 設定」の章をお 読みになり、「Magic Packet Wakeup」を「Disable」（無効）に変更 してください。

■Magic Packet™

本製品は、ネットワーク経由で送出された Magic Packet™ と呼ばれる特定の情報パケットを受けとることにより、コンピュータの電源をオンにします。

Magic Packet™ の概要

Magic Packet Mode が有効な状態でコンピュータが休眠状態になると、本製品のネットワークコントローラチップを除くシステム全体がパワーダウン状態になります。

このとき、ネットワークコントローラは、ノード宛に入ってくる全てのフレームをスキャンし、Magic Packet フレームであることを示す特定のデータシーケンスを探します。Magic Packet フレームは、ソースアドレス、デスティネーションアドレス（受信側の IEEE アドレス、またはブロードキャストアドレスを含むマルチキャストアドレス）、CRC など、使用しているネットワークの基本的条件も満たしている必要があります。データシーケンスはブレークも割り込みもなく、ノードの IEEE アドレスを 16 回繰り返すことによって構成されます。

このシーケンスは、パケット内のどこに位置していても構いませんが、必ず同期化ストリームの後に続いていなければなりません。16 回繰り返される IEEE アドレスが、起動対象のコンピュータのアドレスと合致していれば、デバイスは、ブロードキャストフレームも受信します。

このシーケンスは、TCP/IP パケット、IPX パケットなど、どのパケットにでも入れておくことができます。

また、Magic Packet フレームは、ネットワーク内で自由にブリッジしたり、ルーティングしたりでき、その場合でもフレームの宛先ノードを起動するという機能には影響を与えません。

フレームをスキャンした結果、上記のような特定シーケンスが見つからなければ、ネットワークコントローラは、フレームを破棄し、それ以上の動作は行いません。シーケンスを検出した場合は、コンピュータのパワーマネジメント回路にアラートを送り、システムを起動します。

E 保証と修理について

■保証について

本書に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品（ドライバーディスクは除く）の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンター宛てに製品を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

- 弊社サポートセンターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 宅急便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。（普通郵便による送付は、固くお断りいたします。）
- 修理期間は、製品到着後、約 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。
- 誠に申し訳ございませんが、直接来社されてのサポート依頼は受付けておりませんので、製品は必ず宅急便などでお送りください。

■製品送付先

〒 222-0033　横浜市港北区新横浜 1-19-20
（株）コレガ　corega サポートセンター宛

F ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査依頼書」68 ページをコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAX してください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAX によって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせ よりも遥かに早く問 題を解決することが できます。記入内容の詳 細は、「調査依頼書の記入について」をご覧ください。

Tel: 045-476-6268 10:00-12:00、13:00-17:00月～金（祝・祭日を除く）

Fax: 045-476-6294

† 番号はお間違いのないよう、よくお確かめの上ダイヤルしてください。また、電子メールでのユーザーサポートの受付および対応は、実施しておりません。上記のいずれかの方法でお問い合せください。

F.1 調査依頼書の記入について

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

■ハードウエアとソフトウェア

- 本アダプター上に貼られたラベルに記入されているシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev) を調査依頼書に記入してください。

(例)

- ご使用になっているソフトウェアの種類／バージョン（Ver.）を記入してください。これらは、ドライバーディスクのラベル上に記入されています。
- 他社のインターフェースボードやユーティリティーをご使用の場合は全てご記入ください。
- 接続しているサーバーの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

■お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）記入してください。

- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容をプリントアウトしたものなどを添付してください。
- 障害などが発生する場合には、本アダプターと 併用されているユーティリティーや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

■ネットワーク構成について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

F.2　システムリソースレポート添付のお願い

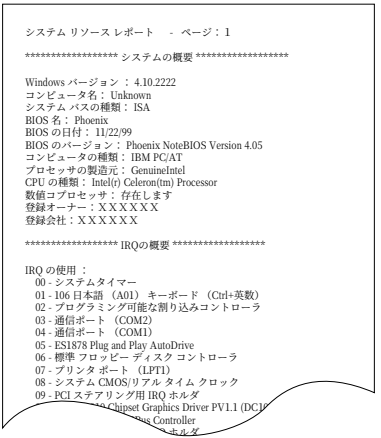
お問い合わせ の際には可能な限り、システムリソースレポート（お使いのコンピュータの詳細情報を OS が自動作成するレポート）を出力の上、「調査依頼書」に添付いただきますようお願 いいたします。システムリソース レポートを出力する手順は以下の通りです（Windows98 の場合）。

(1) コントロール パネルから「システム」を起動し「デバイスマネージャ」タブを表示します。

(2) 「印刷 ...」ボタンをクリックします。

(3) 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

■システムレポートの出力例（Windows98 Second Edition の例）



システム リソース レポート　- ページ：1

********** システムの概要 **********

Windows バージョン ： 4.10.2222
コンピュータ名： Unknown
システム バスの種類： ISA
BIOS 名： Phoenix
BIOS の日付： 11/22/99
BIOS のバージョン： Phoenix NoteBIOS Version 4.05
コンピュータの種類： IBM PC/AT
プロセッサの製造元： GenuineIntel
CPU の種類： Intel(r) Celeron(tm) Processor
数値コプロセッサ： 存在します
登録オーナー：ＸＸＸＸＸＸ
登録会社：ＸＸＸＸＸＸ

********** IRQの概要 **********

IRQ の使用 ：
00 - システムタイマー
01 - 106 日本語 （A01） キーボード （Ctrl+英数）
02 - プログラミング可能な割り込みコントローラ
03 - 通信ポート （COM2）
04 - 通信ポート （COM1）
05 - ES1878 Plug and Play AutoDrive
06 - 標準 フロッピー ディスク コントローラ
07 - プリンタ ポート （LPT1）
08 - システム CMOS/リアル タイム クロック
09 - PCI ステアリング用 IRQ ホルダ
Chipset Graphics Driver PV1.1 (DCL
s Controller
ホルダ

F.3　最新ドライバーの入手方法

弊社は、改良のために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行う ことがあります。最新のドライバーは、弊社のホームページから入手することができます。また、このホームページではFAQ、パソコンの動作検証リストなどの情報もご案内しておりますので、ぜひご覧ください。

(1)　Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザーを使用して、次のアドレスにアクセスしてください。

http://www.corega.co.jp/

(2)　「ダウンロード」→「各種ドライバ」をクリックしてください。

(3)　ご希望のドライバーをクリックしてください。

F.4 「corega Net-News」のご案内

「corega Net-News」は、株式会社コレガがお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客様は、corega ホームページでご登録ください。なお、メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。

G おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2001 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows、WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Wake on LAN は、IBM Corporation の登録商標です。
Magic Packet は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2001 年 6 月　　Rev.A　初版

調査依頼書（corega FEther PCI-BLK 1/2）

年　月　日

一般事項

1. 会社名（個人名）：　　フリガナ：
   部署名：　　ご担当者：
   ご連絡先住所：〒
   TEL: (　　)　　FAX: (　　)
2. 購入先：　　購入年月日：
   購入先担当者：　　購入先 TEL: (　　)

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用のカードのシリアル番号、製品リビジョン

   製品名：corega FEther PCI-BLK　S/N＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ Rev＿＿

   ドライバーディスクのバージョン：Ver.＿＿＿＿ pl.＿＿＿＿
2. ご使用のコンピュータ機種と併用している他メーカーの拡張アダプター（ボード）
   コンピュータのメーカー名／機種
   OS とバージョン
   拡張アダプターのメーカー名／機種
3. ご使用のサーバー機種（UNIX、NetWare、Windows NT など）
   コンピュータのメーカー名／機種
   OS とバージョン

お問い合わせ内容

□別紙あり　　□別紙なし

□設置中に起こっている障害　　□設置後運用中に起こっている障害

調査依頼書（corega FEther PCI-BLK 2/2）

年　月　日

ネットワーク構成

□別紙あり　　□別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

メモ

製品保証規定

■ この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。

・ LANアダプター本体：製品保証書に記載の“保証期間”で無償保証とします。

（ただし、本規定の他の条項に準じます。）

・ 本体付属品（ドライバーディスクなど）：3ヶ月間保証

■ 保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■ 保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での 修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）

1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、静電気、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の機器が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換（バックアップ電池など）
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■ 本製品に付属のドライバー・ソフトウェアが他社の提供するハードウェア、またはアプリケーション・ソフトウェアと共有できるという動作保証、および使用によるその他の損害についての保証は行いません。

■ 本ハードウェアが他社の提供するソフトウェア、またはアプリケーション・ソフトウェアと共有できるという動作保証、および使用によるその他の損害についての保証は行いません。

■ 修理によって交換 された代替品、不良 部品の所有権は弊 社に帰属するもの とします。

■ 製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。

■ 製品保証書は、日本国内のみで有効です。

■製品保証書 は再発行いたしませんので紛失しないよう に大切に保管してください。

製品保証書（1年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製 品 名　corega FEther PCI-BLK

シリアル番号
（S/N）

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先

coregaサポートセンター
〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-19-20
TEL：045-476-6268
受け付け時間：10:00～12:00/13:00～17:00
月～金（祝・祭日を除く）
FAX：045-476-6294

販売店様印

※ 本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印が無い場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。
※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。